

(^\_^) 『明日からの学級が変わる！HOWTO学級作り・特別活動』 (^\_^)

(^\_^) 山口学級活動ネットワーク メールマガジン (^\_^)

(^\_^) 平成19年08月28日発行 第42号 (^\_^)

∞メニュー∞∞∞

- 1 旬の情報～2学期のスタートをこう乗り切る！
- 2 第5回「希望の会」九州・沖縄地区研究会福岡大会のご案内
- 3 メルマガ編集部からのお知らせ

∞∞∞

-----

1 旬の情報～2学期スタートをこう乗り切る！

米子市立伯仙小学校 太田敦弘

-----

このたび、鳥取県米子市の太田先生から、2学期スタートをうまく乗り切る実践がたくさん届きました。

◆その1 2学期はじめの学級通信で「夏休み、親子おもしろ体験談 募集！」

『この夏休みは親子でどのように過ごされたでしょうか？家族でキャンプをしたり、旅行に行ったり…。しかし、保護者の方の仕事によっては、忙しくて旅行どころではなかった。という家庭もあるかもしれません。

夏休みにあっただきごとを教えてください。家でのこと、旅先でのこと、親せきの人が家に来たとき、など、いつのことでもかまいません。楽しかったこと、おもしろかったこと、いたかったこと、泣いたこと感動したこと、ためになったこと、など、どんなことでもかまいません。量は少しでもいいですので、思わずほほえましくなるような、心温まるエピソードをお待ちしています。なお、応募があれば学級通信で紹介したいと思しますので、ペンネームや匿名でもかまいません。メールでもOK！

よろしくお願いします。』

といった感じです。

すると、何人かの保護者の方が、ユーモアを交えて書いて下さいます。実名をあげてもいいし、下の様に伏せてもいいと思います（実際の例です）。

\*\*\*\*\*

夏休み、8月2日～30日まで、姪を預かりました。姪は5年生。でも3月下旬生まれで身体も小さく、うちの子にとっては妹のように見えたようです。いろいろな目に余る行動やよくない言葉、やんわりと注意しますが、どこ吹く風の様子・・・。

30日に帰っていったあと、「〇〇ちゃんが放ったらかしのを片づけたり、イヤなことをされたりしても、よく我慢したね。」と、頭をなでたら、大粒の涙がポロリ、ポロリ。

「お母さんはわかってないと思ってた・・・。」って。

子どもの成長を見た一ヶ月でした。

プリティーママさんより

\*\*\*\*\*

誤字脱字や、わかりにくい文章は直します。長い場合は、整理して短くします。家庭でのほのぼのとした様子が見えてきて、とてもいいですよ。おすすめです。

#### ◆その2 低学年向け、2学期スタート実践ア・ラ・カルト

##### (1) 学級をチームにしちゃおう！

低学年の児童にとって、学級とかクラスというまとまりも十分刺激的で目新しいものではあるが、2学期スタート、学級での生活に少し沈滞ムードが漂ってきた時に、学級を『チーム』にしてはどうだろう。

1年生の学級のキャラクターを「となりのトトロ」にした。学級旗の真ん中にはもちろんトトロ。学級通信の題もトトロ。この学級では、チーム名を『ととろくらぶ』にした。学級会は『ととろくらぶの話合い』、学級保護者会は『ねこばすくらぶ』である。

ある年には、1年生の学級のキャラクターを鉄腕アトムにした。学級旗の真ん中にはもちろんアトム。学級通信の題は『みらい』。この学級では、チーム名は『あとむくらぶ』。

ある年の2年生では、学級のキャラクターを名探偵コナンにした。学級旗の真ん中にはもちろんコナン。チーム名は『にこにこ探偵団』。2年2組だからにこにこ、学級通信は、『こちらにこにこ探偵団』である。

キャラクターを何にするかが悩みどころではあるが、担任が意図的に決めたり、子どもたちと一緒に考えたり、いろいろな方法が考えられる。いずれにしても「学級をつくる手段の一つ」であることを頭においておくことが大切である。

##### (2) メンバースカードで心をわしづかみ！

学級を『チーム』にしたら、メンバースカードを作る。

友だちのいいところをひとつでも見つけたら、ととろくらぶのメンバー。そして、すてきなメンバースカードがもらえる。インクジェットプリンタできれいに印刷したものを、ラミネーターにかけると、本格的なカードが比較的簡単にできる。

低学年では、メンバースカードをととても喜ぶ。いつもふでばこやかばんの中に入れて、大事にする。渡すときの演出もとても大切だ。このカードがいかに貴重なものであるか、このカードがもらえるということの意味、など、少し大げさに話す。もちろん、ただ渡すことが目的ではなく、メンバースカードに関わる様々な活動を通して、子どもたちの心をひとつにしていくことを意識すると、活動がさらに広がる。とはいえ、この活動はするだけでとても楽しい。

にこにこ探偵団では「4つのやくそく」で心をひとつにした。

探偵団であるからには、「はてな」や「ふしぎ」のなぞを解くことも忘れてはならない。

(3) 『今日のたからもの』のコーナーをワンランクアップさせる！

帰りの会などに、『今日のたからもの』や、『今日の〇〇くん、〇〇さん』などのネーミングで、よいところさがしをされている学級が多いと思う。友だちからしてもらったことや、友だち同士の『いい出来事』を報告しあう形が多いのではないだろうか。

ただその出来事を言うだけではなく、「今日、雄太さんが一緒に遊んでくれたよ。」のあとに「雄太さん、ありがとう。」と言うのである。そのときに頭を下げるとさらによい。低学年はもとより、高学年で友だちに「ありがとう。」と言って頭を下げる姿は、何とも気持ちがいい。

高学年でも慣れてくると、男子から女子へ、女子から男子へ「ありがとう。」という言葉が聞かれるようになる。こうなったらしめたものだ。

(4) 給食は「れすとらん」でお上品に！

ランチルームのような、給食が食べられる特別な部屋があるとなおよいが、机をテーブルクロスと花で飾り、「レストラン給食」をしてみよう。

入り口には簡単な看板をつくり、給食当番が並んで「いらっしやいませ！」

献立の内容が変わるわけではないのに、なぜか給食がよりおいしくなったような気がする。

BGMにクラシックを流すと、「レストランみたい～」の声。

(5) 保護者通信で保護者を巻き込む

2学期になると、学級役員さんとも仲よくなり、話す機会も多くなる。学級の保護者会に関わるお知らせ等を「保護者通信」という形で発行してもらおう。発行してもらおうとは言っても、内容についてのあらましかだけを考えてもらい、こちらで通信にするのである。

懇親会や、お楽しい会などを計画してもらい、できるだけ保護者に学校に来てもらう機会を作る。それだけでクラスの雰囲気が変わる。

保護者の影響は大きいのである。

### ◆その3 学級目標のリフレッシュ

学級目標をつくる以上は、日常の活動に生きるような学級目標づくりのために努力をしておられるであろう。このことは、学級目標をつくる上で最も大切であると言っても過言ではない。しかし、「日常に生かす」ということは、非常に難しい。

学級目標をつくってはみたものの、ただのお題目となってしまう、意識から消え去った経験が幾度となくある。ときには、学級目標が盛りだくさんで、なかなか覚えられなかった経験もある。わたし自身が意識することができないものを、子どもたちが意識できるはずもない。子どもたちの意識の中に残る学級目標をつくるには、どうしたらよいのだろうか。二学期が始まるこの時期、一学期の学級目標をリフレッシュし、学級づくりをさらにステップアップさせるいいチャンスである。

《キーワードは安・近・短》

安…安心できる内容であること。

現代の子どもたちは様々な不安をかかえている。学級に居場所を求め、学級でしか安らげない子どもたちが増えている。とかく学級目標には努力などといった言葉が使われるが、学級全員が常に努力している状態を想像すると息がつまりはしないだろうか。

近…身近な言葉，身近な内容であること。

六年生だからといって必要以上に難しい言葉になっていないだろうか。一年生だからといって安易に「なかよし」で終わっていないだろうか。子どもたちの実態に合わせた身近な言葉，子どもたちが理解できる言葉でなければ，心には残らない。

短…短い言葉・文章であること。

目標を具体的にしようとするあまり，だらだらと長い文章になっていないだろうか。覚える練習をしなくては覚えられないようでは，学級目標として適さない。場合によっては意図的に長く具体的な文章にする場合もあるかもしれないが，一般的ではない。

このように，学級目標をつくる，または見直す場合に，ちょっとひと息おいて自分の「目標像」を見つめ直してみることも大切である。「実態に合わせて」という言葉がよく使われるが，このごろ子どもたちの実態に合わせられるだけの幅を自分が持っていないことに気付くことがある。

いよいよ二学期，学級目標を子どもたちといっしょに見直してみませんか。

---

## 2 第5回「希望の会」九州・沖縄地区研究会福岡大会のご案内

---

このたび，特別活動「希望の会」研究会が，初めて本州から離れて福岡で行われます。メルマガ読者の皆さん，たくさんのご参加，お待ちしております。

- 1 テーマ 『社会に参画する力や自治的能力の育成と特別活動』
- 2 期 日 平成19年9月1日(土)
- 3 会 場 福岡県教育庁福岡教育事務所研修室(福岡県吉塚合同庁舎3F)  
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 福岡県吉塚合同庁舎内

Tel 092-643-0111

### 4 研究会の内容

- (1) 問題提起(杉田調査官からの提起)

「社会に参画する力や自治的能力の育成と特別活動について」

- (2) シンポジウム コーディネーター 杉田 洋 調査官

「社会に参画する力や自治的能力をどのように特別活動で育成すればよいか」

シンポジスト

八巻先生（仙台市）・船田先生（事務局）・梶田先生（山口県）

西川先生（佐賀県）・清末先生（福岡県）

※シンポジストについては、今後「希望の会」のMLでご紹介します。

- (3) 分科会：

「特別活動の各内容で社会に参画する力や自治的能力を

どのように育成すればよいか」

ファシリテーター

小学校学級活動分科会：平野先生（熊本県）

中学校学級活動分科会：寺嶋先生（千葉県）

児童会活動分科会：池田先生（福岡県）

クラブ活動分科会：野口先生（福岡県）

学校行事分科会：大久保先生（福岡県）

- (4) 講 話 『これからの特別活動の実践的課題』

講師：文部科学省初等中等教育局調査官 杉田 洋 先生

## 5 日 程

12:30 受付

13:00 開会行事

13:20 問題提起

13:30 シンポジウム

14:40 分科会

16:00 講話

17:00 閉会行事

17:30 懇親会

## 6 参加費 1,000円

## 7 申し込み方法

- 「希望の会」へ入会されると、希望の会のMLから申込ができます。

E mail：[tokubetsukatsudo@hotmail.co.jp](mailto:tokubetsukatsudo@hotmail.co.jp)←入会はこちらへ

- その他の方法で申し込まれる方は、郵送かFAX、E m a i l でお願ひします。

その際、希望する分科会名と懇親会への参加の有無をお知らせください。

福岡県宗像市教育委員会教育政策課 脇田哲郎

〒811-3492 福岡県宗像市東郷1丁目1-1

FAX 0940-37-1525

E mail：[waki0866@tw.city.munakata.fukuoka.jp](mailto:waki0866@tw.city.munakata.fukuoka.jp)

---

## 3 メルマガ編集部からのお知らせ

---

◆次号の予告◆◇◆

第43号は9月上旬ごろ発行予定です。

次号は、「係活動」について第11弾をお送りする予定です。

原稿の投稿がありましたら、そちらを優先することがあります。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は176名まで増えました。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。

登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。特活の実践を広げ、共有していきましょう。

9月といえば運動会。そこで、「運動会と学級をつなぐ取組み」についての情報交換できたらと思います。先生方が取り組んでおられるミニ実践を紹介してください。

本メールマガジンでは、今後、以下のようなことについての情報を交流し合いたいと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

<実践投稿のヒント>

9月頃 2学期スタートの学級経営・運動会と学級をつなぐ取組み

10月頃 意欲的に行事に取り組む手だて

11月頃 学級目標の見直し・音楽会と学級づくり

12月頃 お楽しみ会の在り方・年賀状と学級づくり

1月頃 新年の誓い・新たな気持ちを学級づくりに生かす

2月頃 文集づくり・6年生を送る会のシナリオ

3月頃 お別れ式の持ち方・先生の通知表

以下のアドレスまでよろしくお願いします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴 (山口市立平川小)

津村元文 (防府市立西浦小)

能勢雅子 (山陽小野田市立高千帆小)

吉田哲朗 (山口大学附属山口小)

=====